

令和6年度 宮島幼稚園経営計画

廿日市市立宮島幼稚園長

1 教育目標

『豊かな心もち 自ら考え行動し たくましく生活する子どもの育成』
～やさしい子・かんがえる子・げんきな子～

2 経営基本方針

- ・豊かな自然を生かして、海や山などの自然とのふれあい体験を多く行う。
- ・基本的な生活習慣の基礎づくりと運動活動をバランスよく取り入れていく。
- ・地域の行事を通して、日本や宮島古来の伝統文化を大切にしていく。
- ・小学校との接続を意識した教育実践を行う。
- ・地域交流や校種間交流を積極的に行いながら、人と人とのつながりを深めていく。
- ・園児の主体性を伸ばす活動の場を積極的に作っていく。
- ・教員の指導力を高める研修の充実と教職員相互の協働による組織運営の園体制にする。

3 めざす具体像

【園児像】

- | | |
|--------|------------------------------------|
| やさしい子 | (人とよりよく関わり、相手の気持ちを分かろうとする思いやりのある子) |
| かんがえる子 | (自分から考え行動し、友だちと協力して、ねばり強くがんばる子) |
| げんきな子 | (早寝・早起き・朝ごはん、元気な挨拶、体を動かし遊びを楽しむ子) |

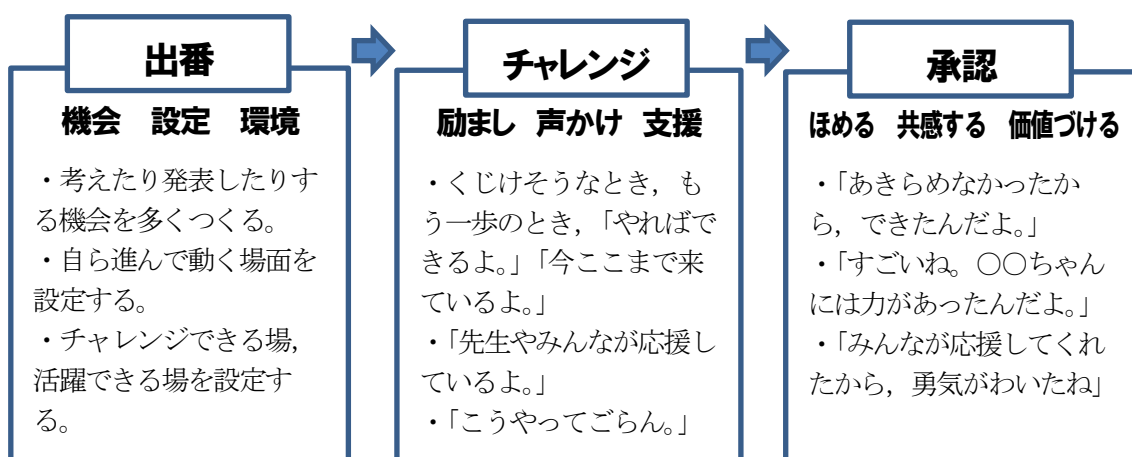
【教職員像】

- | | |
|---------|--------------------------------|
| 協働する教職員 | (明るく笑顔で対応し、組織として協力して働く教職員) |
| 評言する教職員 | (子どもたちに共感しながら、子どもたちのよさを認める教職員) |
| 研修する教職員 | (教育目標に沿って、職能向上に励む教職員) |

【幼稚園像】

- | | |
|-------------|-----------------------------|
| 楽しい幼稚園 | (笑顔と笑い声にあふれ、安心・安全を図る幼稚園) |
| 信頼される幼稚園 | (家庭や地域と連携しながら、子どもの育ちを育む幼稚園) |
| 基本を大切にする幼稚園 | (基本的な生活習慣を育む幼稚園) |

4 子どもたちの可能性を引き出し伸ばすためのコンセプト (全体の活動を通じた基本的な考え方)



5 子供に育みたい5つの力 (「遊び 学び 育つひろしまっ子!」推進プランより)

- ①「感じる・気付く力」… 身の周りの自然、人、出来事などに心が動き、興味を持って関わる中で、その面白さ、不思議さ、心地よさ、辛さ、悲しさ、優しさを感じ取る力
- ②「うごく力」……… 自分のやりたいことへ向かって、心や身体を積極的に動かして取り組み、自分の身体をコントロールして遊んだり、状況に応じて適切な行動をとったりする力

- ③「考える力」………… やりたいことを実現するために、必要な物や情報などを集めたり実現するための方法を考えたりする力
- ④「やりぬく力」…… 困難や失敗があってもあきらめず、自分の気持ちを立て直し、「やればできる」という気持ちを持って、粘り強く取り組み、やり遂げる力
- ⑤「人とかかわる力」… 表情や言葉などを通して、互いの思いや考えを伝え合ったり、折り合いを付けたりしながら、多様性を受け入れ、様々な人とのよい関係を築く力

6 重点経営目標

- ・ 基本的な生活習慣の育成を図る。特に**あいさつの徹底**を図る。
- ・ 「話すこと」「聞くこと」の育成を図る。
- ・ 自分から考え表現し、**進んで行動**できるよう促す。
- ・ 健康な心と体力の育成を図る。
- ・ **人と関わり、人の気持ちを考える**温かい人間関係づくりを推進する。
- ・ 自然体験や社会体験の遊びを充実させ、豊かな感性を育む。
- ・ 家庭や地域との連携を積極的にを行い、開かれた園づくりを推進する。

7 保育指導の重点

- 【3歳児】 あるがままの姿を受け入れながら、個々の幼児の安定を図り、教師との信頼関係を基盤に **のびのびと自分を発揮**できるようにする。
- 【4歳児】 幼児一人一人の心の安定を図り、自分を発揮するように促し、**いろいろな遊びに取り組む楽しさや友だちとふれあって遊ぶ楽しさ**を味わえるようにする。
- 【5歳児】 年長児として、同年齢や異年齢の友達関係を深め、**互いに認め助け合い、自分から進んで遊びに取り組む意欲や態度**を育てる。

8 教育計画

【教育課程】

- ・ 年間教育週数は、一日の教育時間4時間を標準として39週数とする。
- ・ 教育課程は、本園創立以来の保護者や教職員の願いや地域の願いを尊重しながら自主的に編成する。
- ・ 編成にあたっては、全体を見通し、園児や園、地域の実態を把握して総合的に計画する。
- ・ 保育形態は、一斉の活動や幼児一人一人の主體的な活動、幼児同士の結びつきのある活動など幼児の充実感に繋がる形態を設定する。

【指導方法や指導態勢の工夫・改善計画】

- ・ 園行事や一斉の活動の場面において、異年齢の幼児の交流により、幼児の興味関心を満足させながら、**かかわる力の育成**に繋がる環境支援を行う。
- ・ 教職員が学級を超えて協働しながら、年長児がリーダーとして動く事ができる機会をつくる。
- ・ 宮島地域の自然や伝統文化を継承したり活用したりしながら、園児が生き生きと意欲的に活動できる環境づくりに努める。

9 園運営計画

【組織運営】

- ・ 月別の指導計画・週日案の検討は、内部評価の意義も併せ持ち、教師全員で行う。
- ・ 園務分掌担当者が作成した企画書は、全員で確認しながら執行する。事後反省を次回に生かしていく。

【開かれた園づくり】

- ・ 月別指導計画（園の教育内容や指導のねらい）について情報公開しながら教育内容の共通認識を図る。
- ・ 学級だより・園だより・懇談会・降園時での対話等で積極的に保護者との連携を深め、家庭とともに園児を育てる。
- ・ 学校評価システムを園経営に生かしながら、保護者・地域とともに園児を育てる。